

現状の仕組みと問題点

(現状の仕組みの問題点)

○回答が目的化

府民課の伝達作業、担当所属の回答作業、それぞれの作業が膨大な割に、業務の改善につながっていない

○形式的な回答が多い

声への対応は、担当者まかせとなっており、組織的に検討するしくみとなっておらず、形式的な回答が多い。

○公表内容が不十分

声のみの公表であり、府の対応状況が見えない。また広聴部門への声のみが対象。

(現状の流れ)

